

介護ホームの新春

助川 信彦

玄関に大松飾り二つ並び御幣真白く風にはためく

リハビリ用自転車、櫛に注連かけて新しき丑の年をことほぐ

大ピアノ上に恵比寿の顔したるおきなとおうなの人形並ぶ

食堂につどへば白玉つかべたる年の始めの雑煮配らる

食前の口腔体操済まされば箸を取らぬが決まりと言ふも

ヘルパーさんが真面目に己が顔ゆがめ頬膨らませ見習へと言ふ

上唇に舌差し込みて鼻の下伸ばさせこれはオランウータン

✿

雪富士に初しののめや手を合わす

茅ヶ崎の海の初凧ぎ襟寒し

烏帽子岩にしめ飾りして祝はばや

寒川のやしる賑はぶ初詣で

賽銭は銀貨少なし不況にて



初山河

福神規子

若水を一掬ふくむ師恩かな

片頬に目鼻集まり福笑

朝霜にほのぼの白しゑのこぐさ

初鴉正しき声で鳴きにけり

齡ふと華甲に近し初山河

身辺は簡素がよけれなづな粥

わが影の等身大や冬日和

ひなたぼこして大空へひとりごと

冬の蝶飛ばねば死ぬるかもしれず

しんしんと森に音あり冬の星

